体育会学生の就職活動状況調査（2019年7月）

2019年7月

6月1日の採用面接解禁から1か月、体育会学生の就職活動はどのような状況を迎えているでしょうか。「アスプラ2020」利用中の学生へ7月時点の就職活動について、アンケート調査を行いました。

【調査概要】
調査対象：『アスプラ2020』に登録している体育会学生
回答件数：61 件
調査方法：インターネット調査
調査期間：2019年7月5日~12日

【TOPICS】
▼内定率について
7月時点で80.3%が内定を取得。前月（66.4%）より13.9ポイント増加。

▼志望する業界
3ヵ月連続で「金融業界」がトップに（7.4%）。また同率1位には「鉄道・航空」「スポーツ」「IT」がランクイン。「総合商社」が2位から6位と大幅な下降。

▼インターンシップの参加状況
参加したインターンシップのスケジュールは「半日」「1日」が全体の82.0%を占めた（2018年12月～2019年7月）。

＜本資料について＞
本資料に掲載のデータ、図版等の無断転載を禁じます。
資料のご利用やご質問等に関しては、下記までご連絡ください。

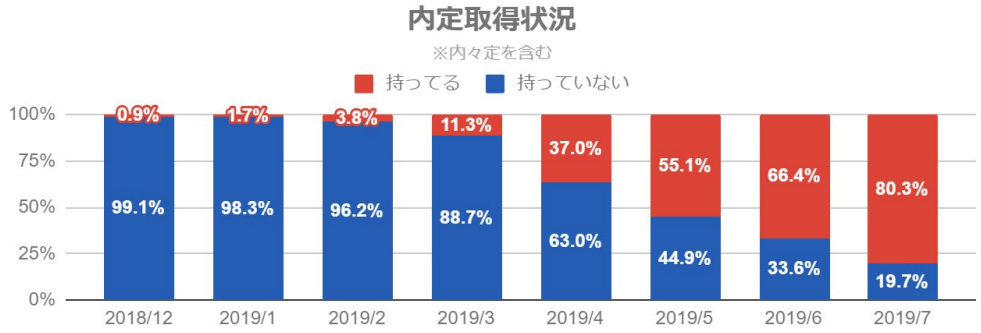
＜本件に関するお問い合わせ先＞
株式会社アスリートプランニング　広報担当
Tel: 03-5937-8460（受付時間：9:00～18:00/土日祝日を除く）
Mail: athlete2020@asupura.com

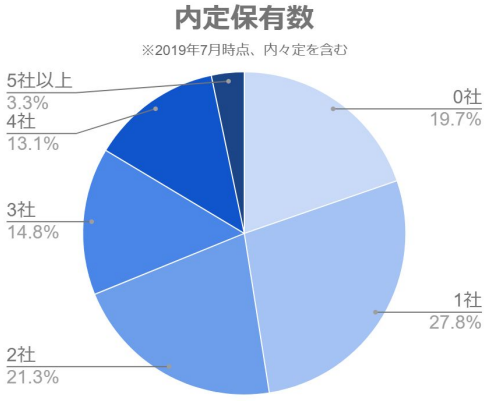
◆就職活動状況

○内定取得状況

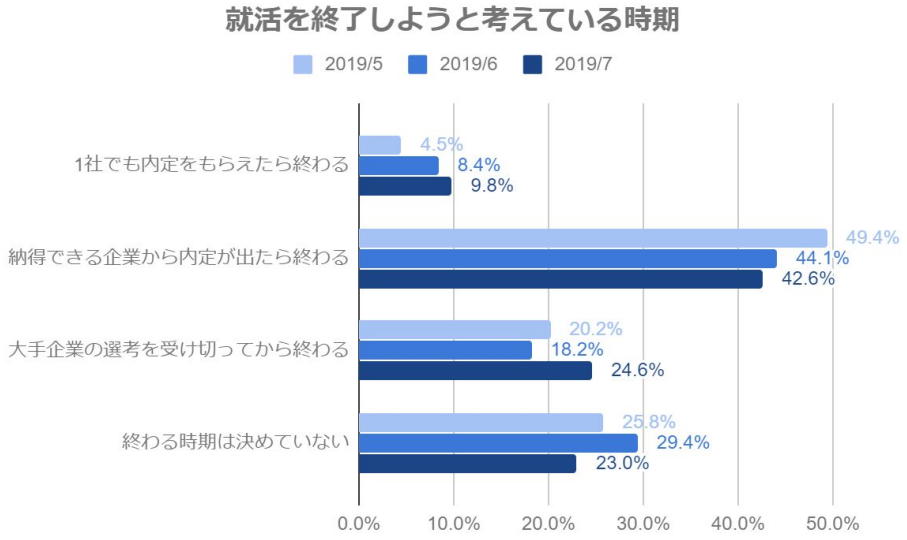
7月時点の体育会学生の内定率は80.3%と前回調査時より13.9ポイント増加。全体の8割が1社以上内定を取得している結果となりました。

大手企業の選考が収束に向かい、多くの学生が内定を取得していますが、内定（内々定）の保有数は「1社」が27.9%と一番多く、複数社の内定を持っている学生は52.5%となりました。





就職活動の終了時期に関しては、6月より増加傾向にあった「終わる時期は決めていない」学生が6月（29.4%）より6.4ポイント減少の23.0%となりました。

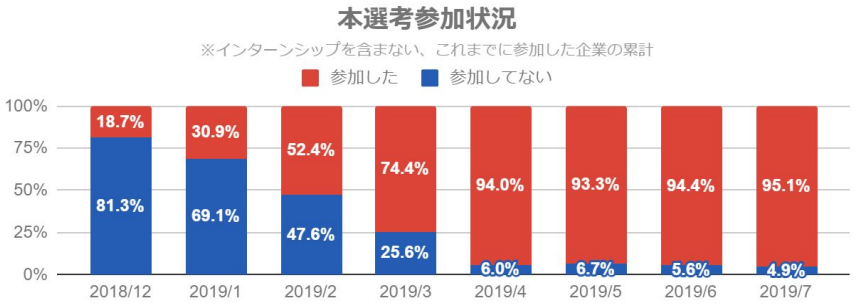


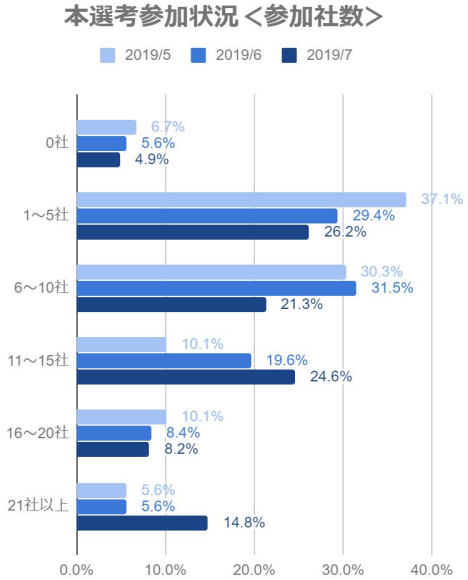
Copyright © Athlete Planning Co.,Ltd All Rights Reserved.

○本選考への参加状況

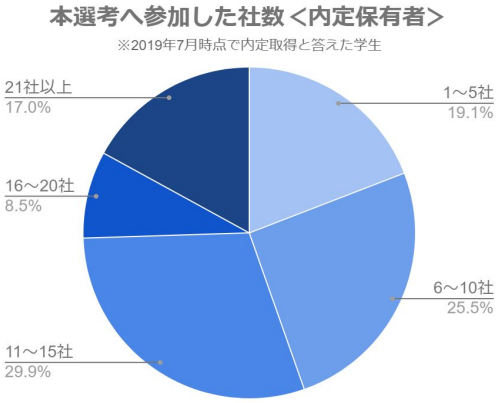
4月より4ヶ月継続して9割の学生が「選考へ参加した」と回答。残りの4.9%は教員、公務員等の他、体育会学生の場合「プロ・実業団」へ所属する学生も一定数いる為、引き続き大きな変化は現れないでしょう。

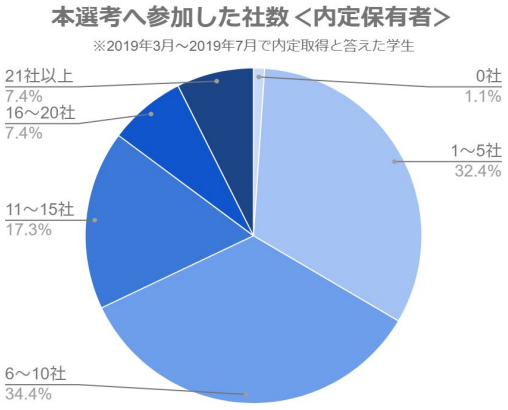
選考参加社数も引き続き増加傾向にあり、「11～15社」が6月（19.6%）から5ポイント増加の24.6%になりました。





また7月の内定保有者の選考参加社数が「11～15社」が29.9%と一番多いのに対し、3月から7月までの内定保有者は「6～10社」が34.4%と一番多い結果となりました。就活の終了時期を「納得できる企業から内定が出たら終わる」と回答した42.6%の学生（本資料3ページ）は、7月現在も慎重な企業選択を続けている様子が伺えます。





Copyright © Athlete Planning Co.,Ltd All Rights Reserved.

◆志望する職種・業界

○志望する職種・業界

7月時点の志望業界はランキングに変動が見られました。「金融」業界は先月に引き続き1位をキープしているものの、このアンケートを取り始めた2018年11月から2位を保っていた「総合商社」が6位へ下降しました（9.3%→5.6%）。

また、大きな動きとして「IT」業界が6月の15位（2.9%）から「金融」「鉄道・航空」「スポーツ」と同率の1位まで上昇致しました。6月の選考解禁後、大手や人気企業のみにこだわった志望先ではなく、今まで以上に視野を広げて就職活動の後半へ向かっている様子が伺えます。

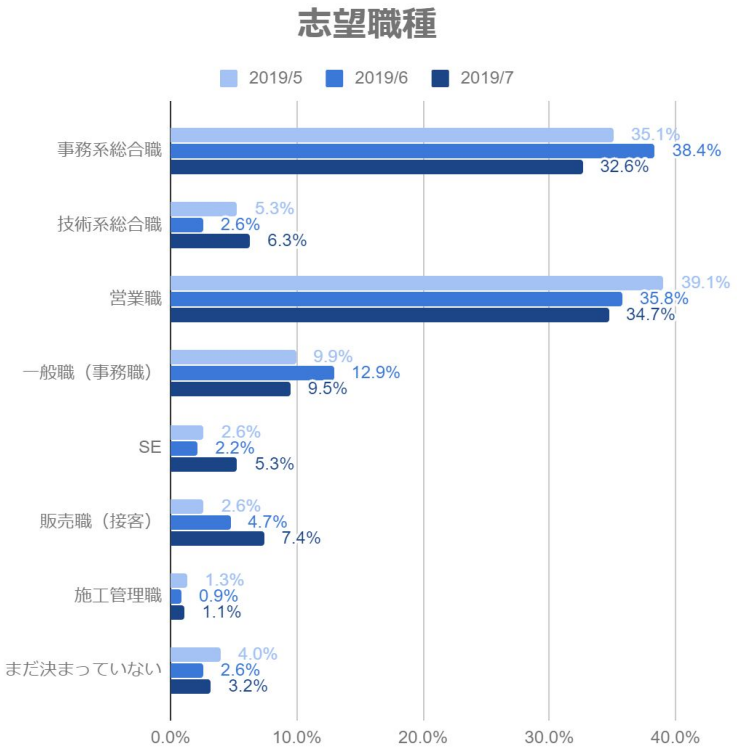
	2019年3月	2019年4月	2019年5月	2019年6月	2019年7月
1	食品・飲料 11.4%	不動産・建設 9.6%	金融 9.7%	金融 10.7%	金融 7.4%
2	総合商社 9.2%	総合商社 8.4%	総合商社 9.2%	総合商社 9.3%	鉄道・航空 7.4%
3	不動産・建設 9.0%	金融 8.4%	食品・飲料 7.0%	不動産・建設 6.1%	IT 7.4%
4	金融 8.6%	スポーツ 7.4%	不動産・建設 6.5%	スポーツ 5.7%	スポーツ 7.4%
5	鉄道・航空 5.9%	食品・飲料 6.2%	電機・機械 5.9%	自動車 5.0%	食品・飲料 6.5%
6	スポーツ 5.3%	IT 5.5%	スポーツ 4.9%	鉄道・航空 4.6%	総合商社 5.6%
7	インフラ 4.5%	鉄道・航空 5.3%	IT 4.9%	食品・飲料 4.3%	不動産・建設 5.6%
8	自動車 3.7%	人材 4.5%	鉄道・航空 4.9%	公務員 4.3%	公務員 5.6%
9	IT 3.5%	物流・運輸 3.8%	公務員 4.3%	その他 4.3%	その他 4.6%
10	人材 3.5%	その他 3.6%	インフラ 4.3%	電機・機械 3.9%	介護福祉 3.7%
11	TV・広告 3.1%	電機・機械 3.3%	その他 3.8%	人材 3.9%	人材 3.7%
12	公務員 3.1%	公務員 3.3%	自動車 3.2%	コンサル 3.6%	物流・運輸 2.8%
13	コンサル 2.7%	自動車 3.1%	化学 3.2%	インフラ 3.6%	TV・広告 2.8%
14	電機・機械 2.7%	インフラ3.1%	化粧品・日用品 3.2%	まだ決まっていない 3.2%	電機・機械 2.8%
15	化粧品・日用品 2.3%	コンサル 2.4%	人材 2.7%	IT 2.9%	鉄鋼・非鉄金属 2.8%
16	その他 2.2%	鉄鋼・非鉄金属 2.2%	通信 2.2%	TV・広告 2.9%	教職 2.8%
17	物流・運輸 2.0%	教育 2.2%	ホテル 2.2%	鉄鋼・非鉄金属 2.5%	進学・留学 2.8%
18	旅行 1.8%	通信 1.9%	製薬 2.2%	物流・運輸 2.1%	コンサル 1.9%
19	ホテル 1.8%	TV・広告 1.9%	物流・運輸 1.6%	通信 1.8%	自動車 1.9%
20	音楽・映画 1.4%	ホテル 1.9%	コンサル 1.6%	化学 1.8%	通信 1.9%

Copyright © Athlete Planning Co.,Ltd All Rights Reserved.

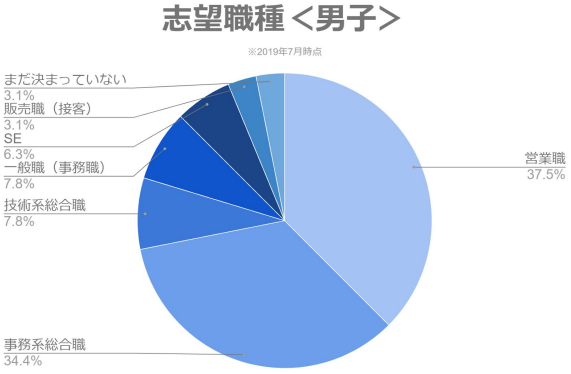
志望職種は6月で増加傾向にあった「事務系総合職」が5.8ポイント減少（38.4%→32.6%）。また「営業職」は1.1ポイントの減少になりましたが、今回の調査では1番志望度が高い結果となりました。なお前回同様、回答数の大半は「事務系総合職」と「営業職」に集中しています。

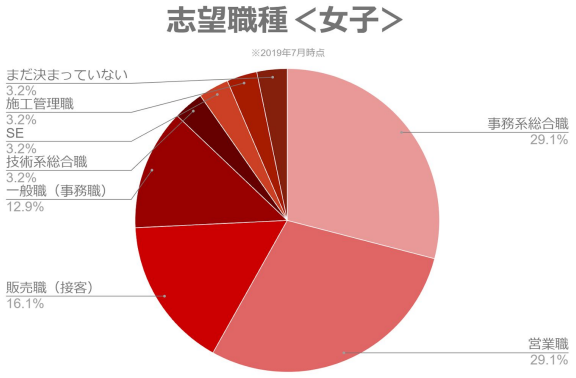
また今回は、専門的な職種への志望度が僅かではありますが増加傾向にあります。「技術系総合職」が3.7ポイント増加（2.6%→6.3%）、「SE職」が3.1ポイント増加（2.2%→5.3%）、「販売職（接客）」が2.7ポイント増加（4.7%→7.4%）となりました。

大手の採用が落ち着き、改めて自身の適性と現時点で応募のある職種を比較して企業を見ている学生が一定数増えてきているのではないでしょうか。



7月時点の男女別志望職種を見ると、女子は「事務系総合職」と「営業職」が29.1%で同率、「販売職（接客）」が「一般職（事務職）」を押さえて3位という結果になりました。男子は「営業職」「事務系総合職」が大半を占め、3位に「技術系総合職」が入りました。

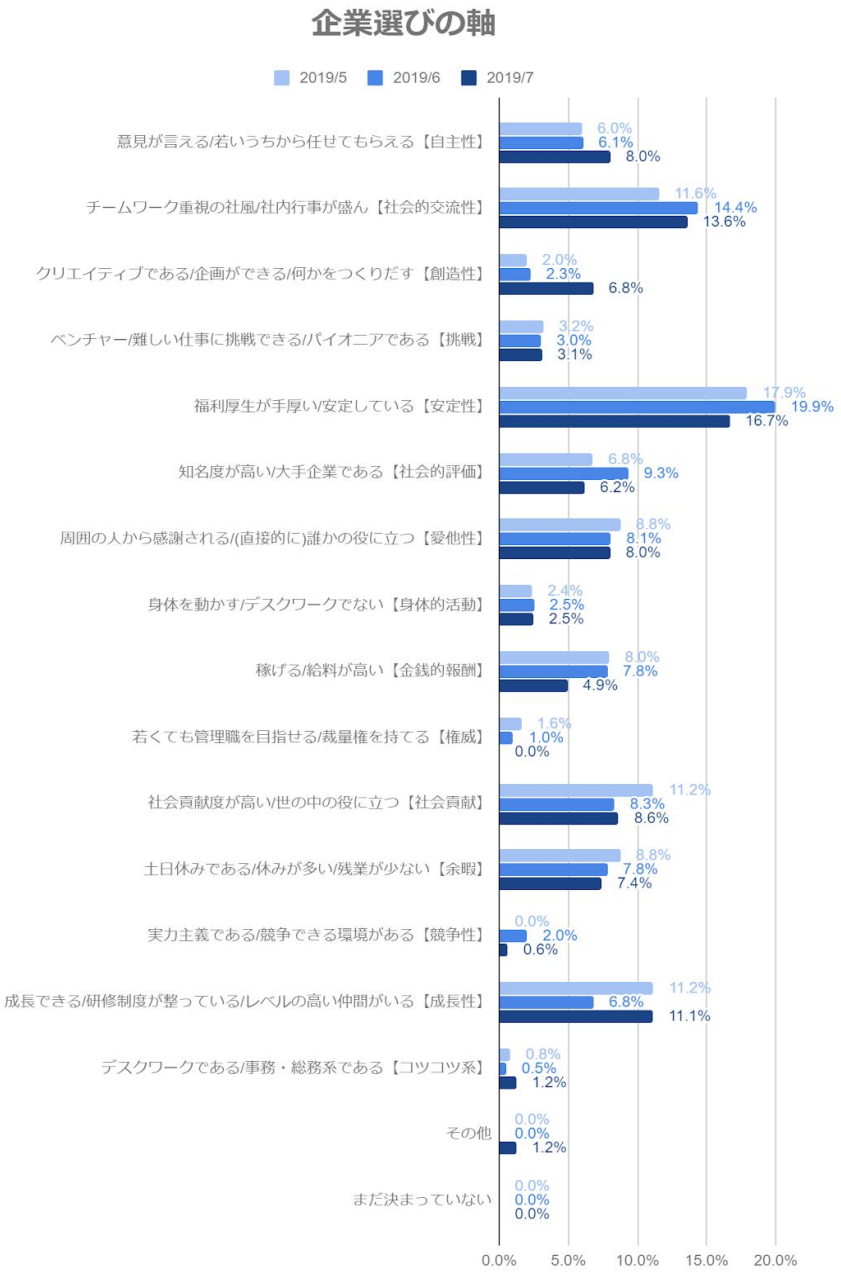




Copyright © Athlete Planning Co.,Ltd All Rights Reserved.

○企業選びの軸

7月度の調査で志望度が1番高かったのは【安定性】でした。しかし、先月調査時の19.9%からは3.2ポイント減少（16.7%）し、2番目にの高い【社会的交流性】（13.6%）と3.1ポイントまでその差が縮まりました。また【成長性】が4.3ポイント増加（6.8%→11.1%）し、【自主性】が1.9ポイント増加（6.1%→8.0%）となりました。更に【創造性】は2.3%から4.5ポイント増加の、6.8%という結果になりました。



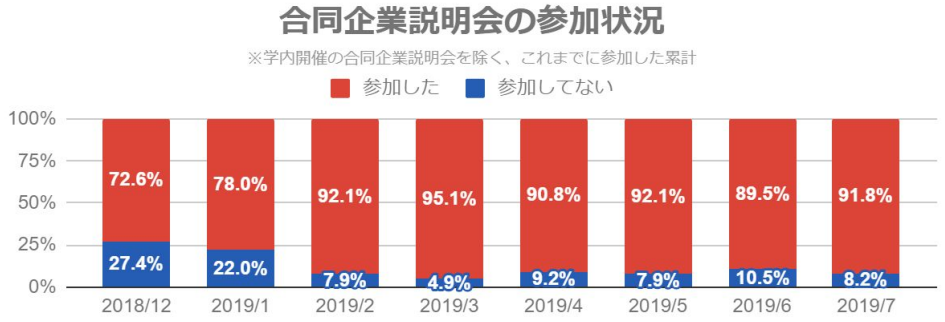
所謂「理系」から遠いように見られる体育会学生ですが、志望業界で「IT」が上位に上がるなど、今まで見ていなかった業界に自身の適性を見出そうとしているのではないでしょうか。

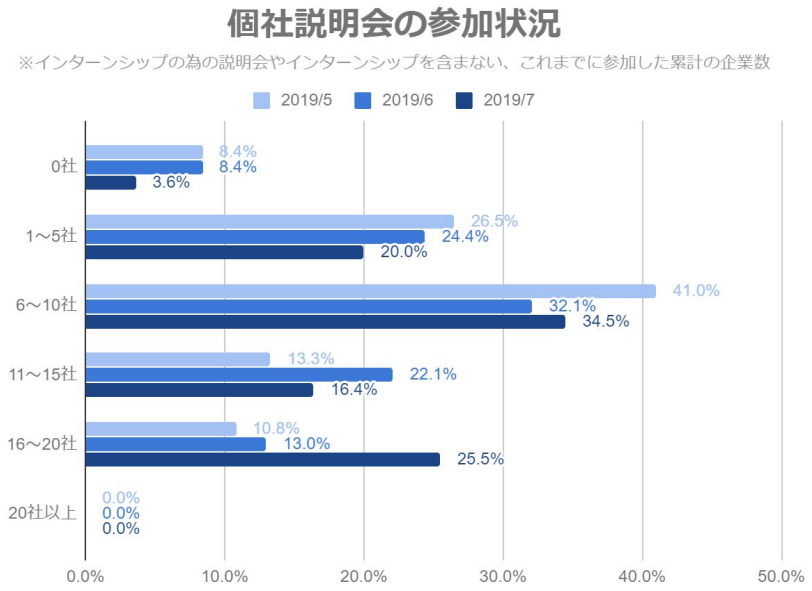
今まで培った場所で活躍するのも体育会の特徴ではありますが、新たな環境で忍耐強く成果を出そうと貪欲な行動を取るのもまた、体育会の特徴です。就職活動のピークが落ち着き始めた7月は、後者に当てはまる学生が増え始めたように伺えます。

Copyright © Athlete Planning Co.,Ltd All Rights Reserved.

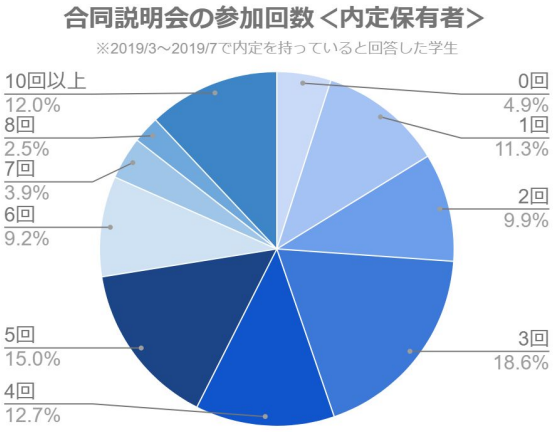
○合同企業説明会・個社説明会の参加状況

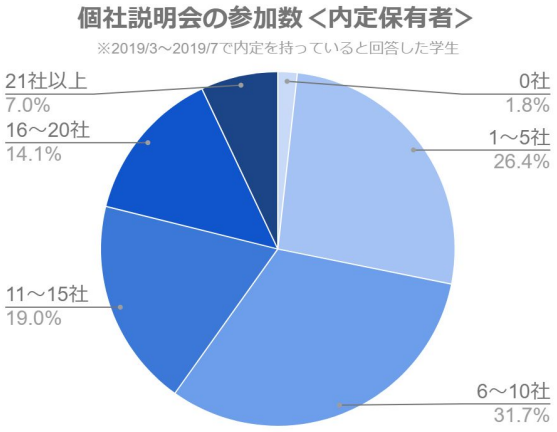
7月時点では、本選考に参加した学生が4月から9割を超えているのに対し（本資料3ページ）、合同企業説明会は更に2ヵ月前の2月には9割の学生が参加している事から、体育会学生が就活情報解禁のタイミングに合わせて行動している事が分かります。





また3月から7月の間で、内定取得学生が合同企業説明会へ参加した回数は「3～5回」が46.3%と、約半数を占めており、次に「10回以上」の参加が12.0%と高い結果が出ました。尚同じく3月から7月の内定取得学生の個社説明会の参加数は「6～10社」が31.7%と最も多い結果になりました。



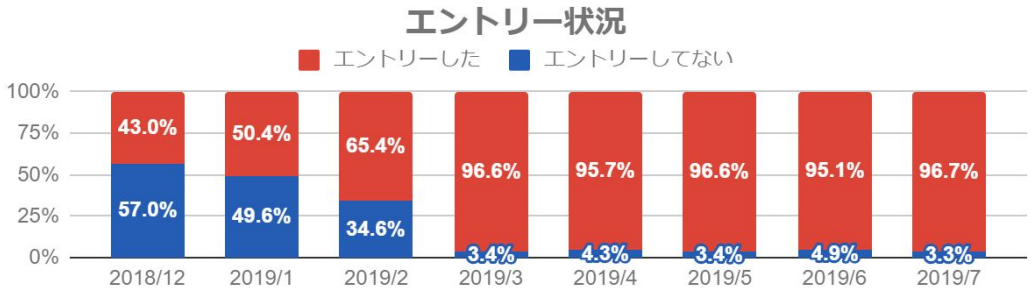


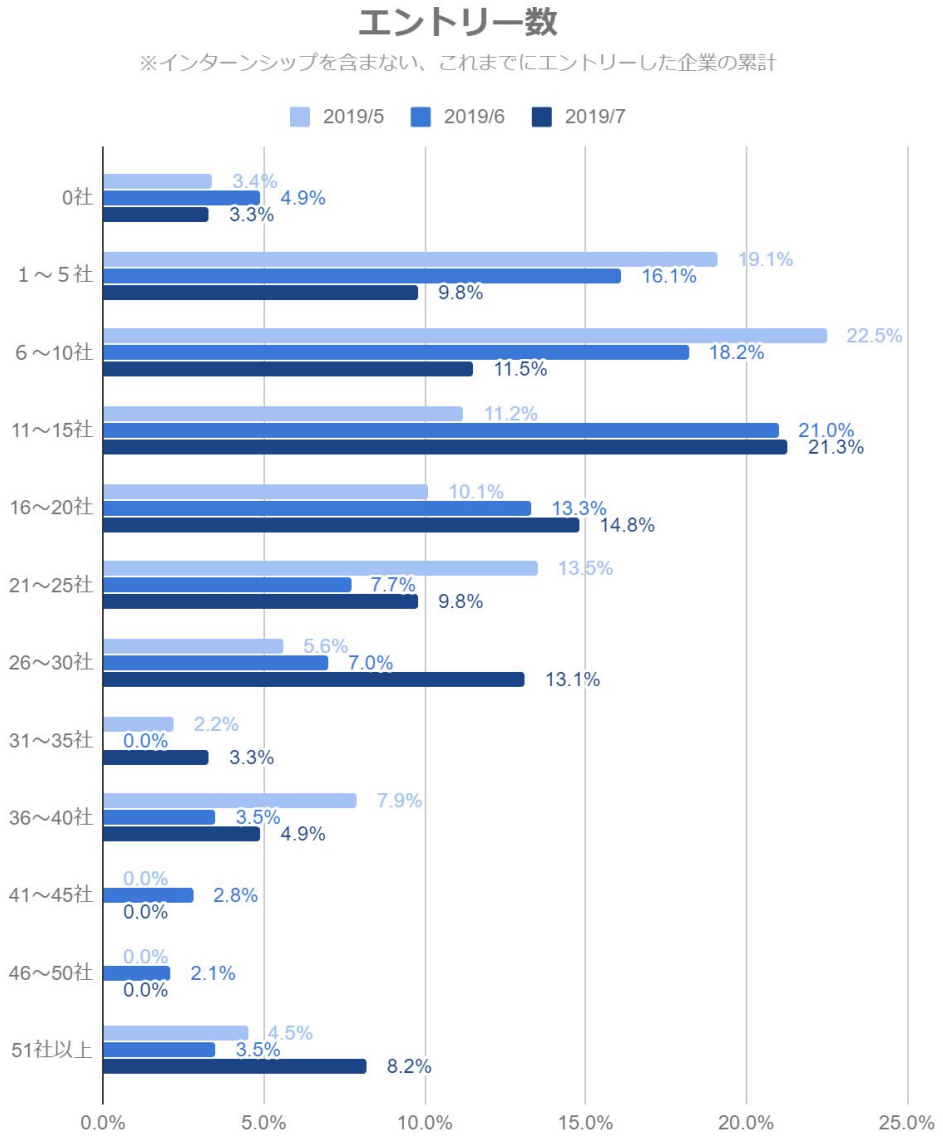
Copyright © Athlete Planning Co.,Ltd All Rights Reserved.

○エントリー数・エントリーシートの提出数

7月時点では96.7%がエントリーを済ませ、3月時点より5か月連続で9割以上を占める結果となりました。また「11～15社」が全体の21.3%で1番多く、前月の21.0%との大きな差は見られませんでした。

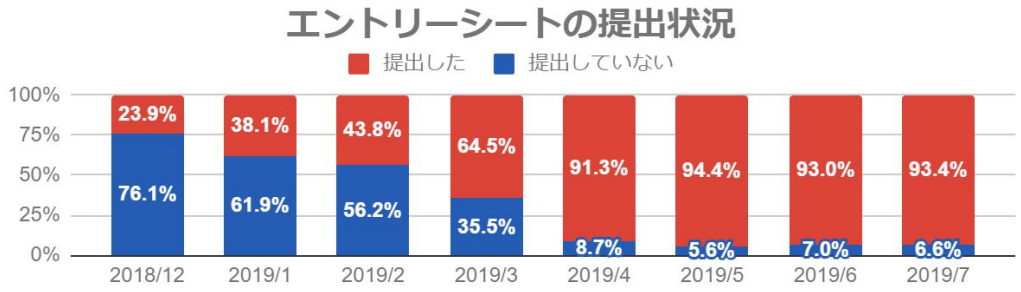
しかし「1～5社」が6.3ポイント（16.1%→9.8%）、「6～10社」が6.7ポイント（18.2%→11.5%）の大幅な減少となりました。なお「26～30社」の6.1ポイントの増加（7.0%→13.1%）を含め、7月は前月よりも全体的なエントリー数の増加が見られました。

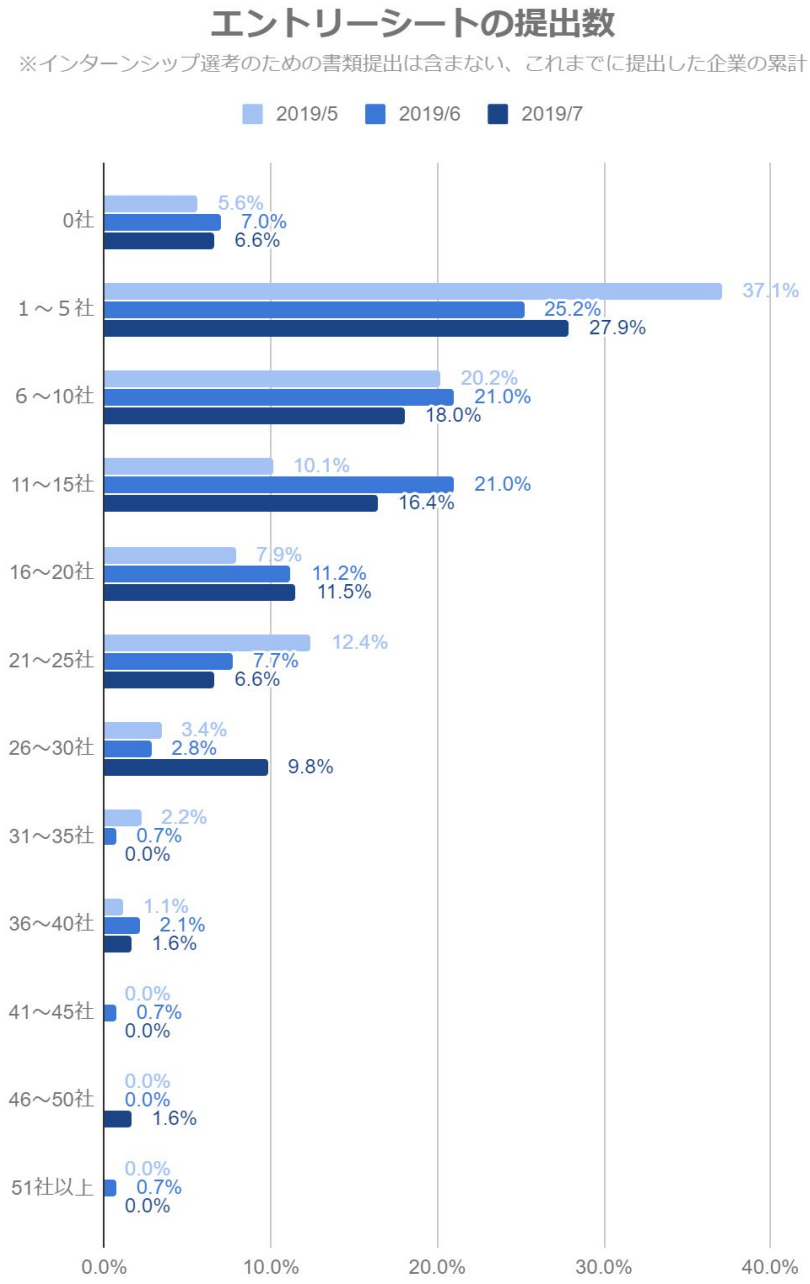




Copyright © Athlete Planning Co.,Ltd All Rights Reserved.

エントリーシートの提出数も4月から4ヶ月続けて9割以上を占めており、選考参加が9割を超えた時期と重なっています（本資料3ページ）。提出数は引き続き「1～5社」が27.9%と多くなっていますが、7月時点では「26～30社」が前月2.8%から7ポイント増加と、エントリー数と同じく全体の提出数に動きが見られました。



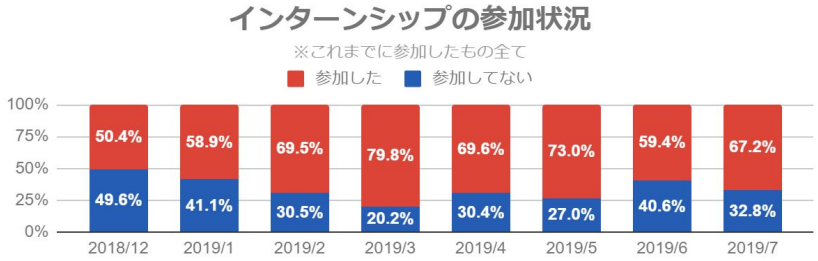


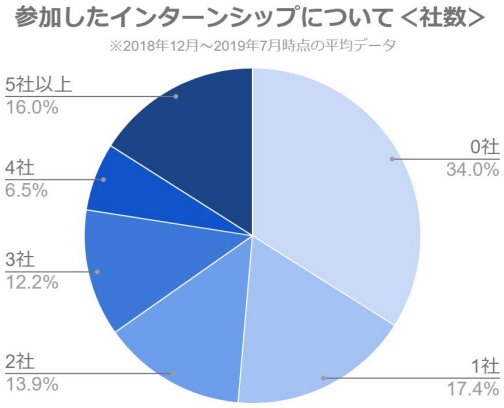
Copyright © Athlete Planning Co.,Ltd All Rights Reserved.

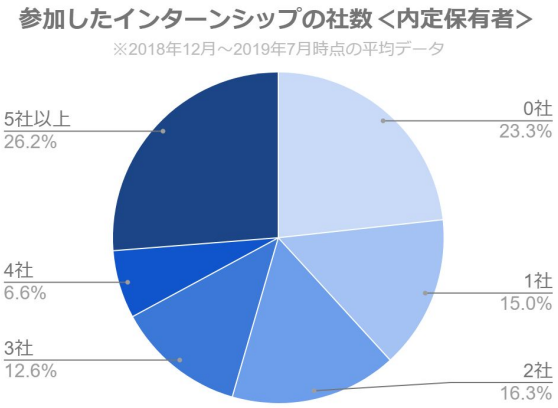
◆インターンシップの参加状況

インターンシップの参加状況は7月時点では67.2%と前月と比較して7.8ポイント増加となりました。

また、2018年12月から2019年7月のインターンシップの参加社数を見ると、66.0%の体育会学生が参加している結果に。更にここから内定取得学生のみを抽出すると、76.7%の学生がインターンシップへ参加している事が分かりました。中でも「5社以上」参加したと答える学生が26.2%と参加社数の中で1番多い結果となりました。

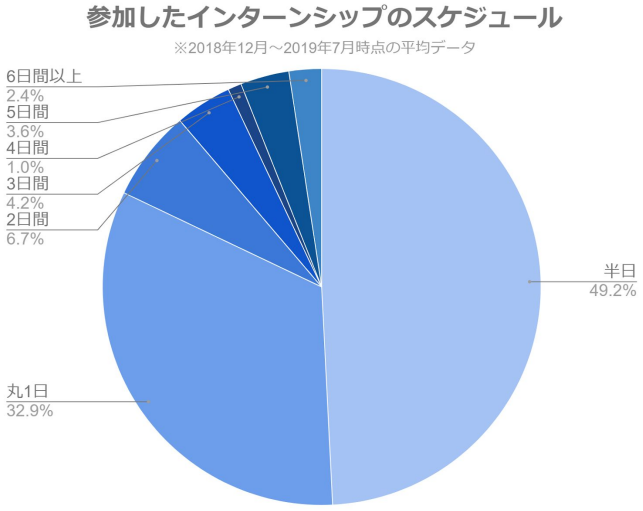




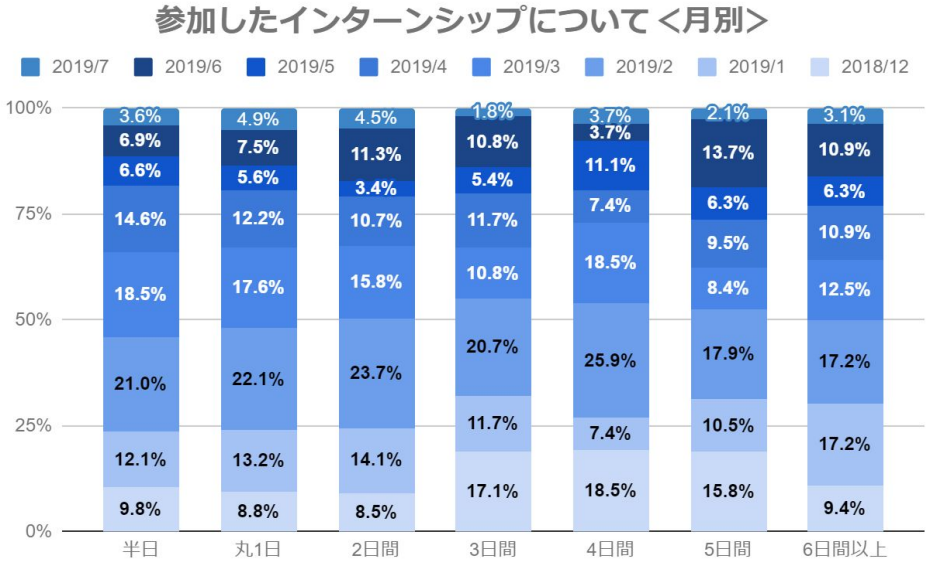


また、参加したインターンシップのスケジュールに関しては、「半日」「丸1日」が82.1%を占めています。これについては、19卒向けのインターンシップで「冬季」かつ「1日・半日」の短期間で実施する企業が増えており※、それが20卒向けにも影響しているようです。

※『株式会社ディスコ キャリタスリサーチ2019年卒・新卒採用に関する企業調査結果(2018年10月発行)』



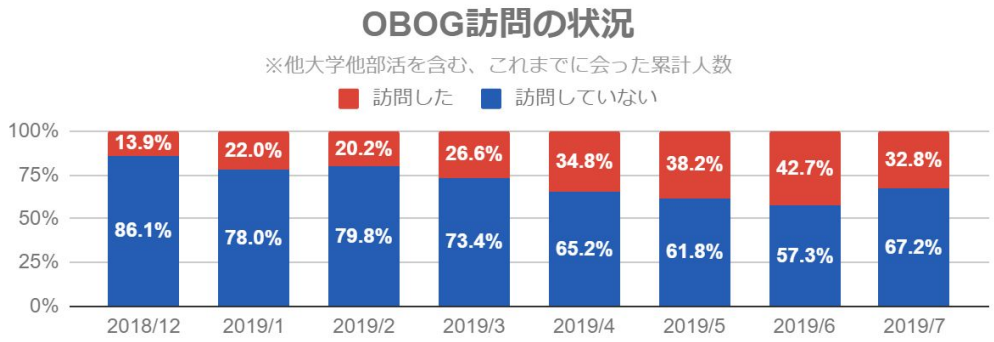
Copyright © Athlete Planning Co.,Ltd All Rights Reserved.

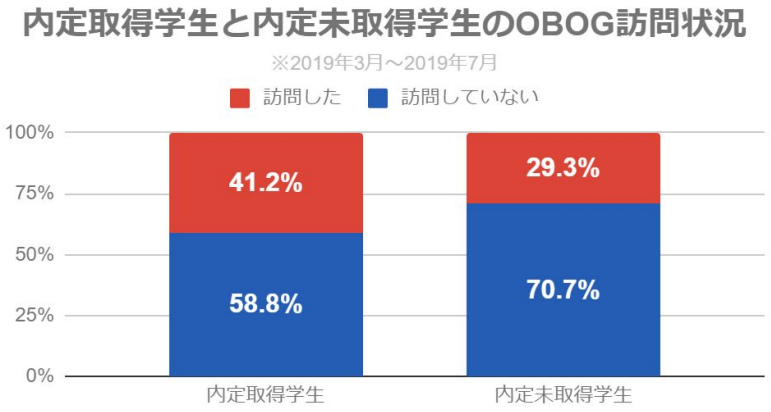


◆OBOG訪問の状況

OBOG訪問をした学生は7月時点で32.8%と、前月調査時（42.7%）より9.9ポイントの減少となりました。この結果より、OBOG訪問は採用面接解禁前の4月から6月にかけてがピークになっていると言えます。

また、内定取得学生のOBOG訪問状況としては内定取得学生の41.2%がOBOGをしているのに対し、内定未取得学生は29.3%と11.9ポイントの差が出ました。





Copyright © Athlete Planning Co.,Ltd All Rights Reserved.